

令和8年度
高知県優良建設工事施工者表彰

受賞者名簿

令和8年9月8日

高 知 県

優良賞

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任 技 術 者	工事番号 工 事 名	工 事 場 所	工 事 概 要
有限会社 伊東組 吾川郡いの町上八川甲3119-1	塩見 武尊	森元 民夫	主任技術者 森元 民夫	施設災第2号 程野林地荒廃防止施設 災害復旧工事	吾川郡 いの町 程野	山腹工 A=0.06ha 土留工 (カゴ) No.1 L=15.90m H=4.00m No.2 L=18.10m H=4.00m 水路工 (プラスチック) L=50.6m 柵工 (角材) L=47.6m 伏工 (植生マット) A=323.40m ² 仮設工 一式
有限会社 稲田建設 高岡郡津野町烏出川1175-2	稲田 将人	谷脇 進	監理技術者 稲田 将人	道交国防安 (耐震) 第 603-001-0801 号 国道 197 号 (二ツ家大橋) 防災・安全交付金工事	高岡郡 津野町 白石	二ツ家大橋 (L=78.0m) 橋脚コンクリート巻立て工 V=147.0m ³ (モルタル吹付工 A=119.0m ² ・アンカー工 N=229 本 コンクリート削孔 N=118 箇所・下地処理工 A=312.0m ² 型枠工 A=367.0m ² ・中間貫通アンカー設置工 N=50 箇所 鉄筋工 W=31.4t・排水管設置工 L=23.0m・ 仮設構台撤去工 1 式)
植田興業 株式会社 四万十市渡川1-10-25 豚座建設 株式会社 四万十市古津賀2丁目6番地 刈谷建設 株式会社 四万十市古津賀2068-1	植田 英喜 佐田 憲昭 佐田 博	林 知成	監理技術者 山岡 繁喜 主任技術者 田辺 豊 乾 友義	道交国防安 (改築) (債) 第 602-0073-1 号 国道 441 号防災・安全交付金工事	四万十市 久保川	施工延長 L=175m 栈道工 L=158m 製作工 N=1 式 (W=177.1t) 架設工 N=1 式 (W=177.1t) 場所打杭工 N=77 本 床版工 N=1 式 法面保護工 N=1 式 橋梁付属物工 N=1 式 情報板移設工 N=1 式 橋面舗装工 A=830m ² 取合工 N=1 式
尾崎建設 株式会社 高知市八反町二丁目13番39号	尾崎 徹哉	藤本 昌治	監理技術者 藤本 昌治	港高潮第 6-22 号 高知港海岸 (横浜地区) 高潮対策工事	高知市 横浜東町	瀬戸防潮堤 上部工 L=157m (コンクリート V=701m ³)
金村建設 有限会社 宿毛市自由ヶ丘4番1号	金村 金治	高橋 典彦	主任技術者 松本 功	地震高潮第 53-1 号 松田川地震高潮対策工事	宿毛市 宿毛	施工延長 L=106.8m 覆土ブロック A=1465m ² 張芝工 A=1520m ² コンクリート舗装 A=580m ²

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任 技 術 者	工事番号 工 事 名	工 事 場 所	工 事 概 要
株式会社 四国ネット 吾川郡いの町下八川甲373	伊藤 雄二	岡林 裕一	主任技術者 岡林 裕一	基幹（補正）第 243 号 森林基幹道開設事業 土居柳野線 1 工区工事	吾川郡 いの町 下八川十田	施工延長 L=142m 開設延長 L=82.2m（内 30m未成区間） 切土 1958m ³ 盛土 577m ³ 捨土 1251m ³ 路盤工 289.1m ² 種子吹付 256.6m ² 法枠工 393.6m ² 擁壁工（路側）3.3m ³ カゴ枠工 33.5m 48.0m ² プレキャスト U 型側溝 56.8m ガードレール 50.0m 仮設工 1 式
株式会社 勝賀瀬土建 吾川郡いの町天王北1丁目1番地16	弘田 隼也	竹中 友和	監理技術者 田中 秀幸	道改国第 92-50 号 国道 493 号（北川道路） 道路改築工事	安芸郡 北川村 和田	施工延長 L=95m 土工 N=1 式 法面工（モルタル吹付＋鉄筋挿入工）A=1,460m ² 軽量盛土工（PCW）L=90m 地盤改良工 V=74m ³
ジョウトク建設 株式会社 南国市前浜743番地1	常德 和也	西田 周司	監理技術者 西田 周司	大規模第 1-4 号 安芸川大規模特定河川 （栃ノ木橋下部工）工事	安芸市 栃ノ木	橋梁下部工 橋脚（P1 橋脚）工 N=1 基 V=342m ³ 仮設道路工 V=2,100m ³ 作業ヤード整備工 V=2,200m ³ 仮橋・仮栈橋工 A=80m ² 土留め・仮締切工 鋼矢板圧入（フライホイール式）L=14.5m N=128 枚
有限会社 高橋建設 高岡郡津野町芳生野甲162番地1	高橋 幸人	高橋 稔	主任技術者 高橋 稔	道交国防安（改築） 第 9113-021-2 号 国道 439 号防災・安全交付金工事	高岡郡 津野町 寺川	施工延長 L=79.4m 大型ブロック積擁壁工 A=349m ²
有限会社 田所建設 安芸郡北川村野友乙530-1	田所 謙二	山脇 智宏	主任技術者 山脇 智宏	総防第 1-5 号 奈半利川総合流域防災工事	安芸郡 北川村 平鍋	施工延長 L=125m 管路工 L=121m 水槽工 N=1 基

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任 技 術 者	工事番号 工 事 名	工 事 場 所	工 事 概 要
株式会社 谷渕組 高知市南久万29-2	谷 渕 司	岡村 勇輝	主任技術者 伊與木 康	復旧第9号 浦越復旧治山工事	高岡郡 四万十町 浦越	山腹工 0.25ha のり砕工（吹付） 2490.4m ²
月灘建設 株式会社 幡多郡大月町鉾土604-21	新谷 博	西森 一仁	主任技術者 佐田 栄一	道交地防安（ゼロ債） 第5103-046-1号 県道安満地福良線 防災・安全交付金工事	幡多郡 大月町 泊浦	施工延長 L=99.9m 軽量盛土工 L=38m 補強土壁工 L=47m 防護柵工 L=95.4m
株式会社 富士建設工業 高知市介良甲924番地1	田内 直人	山本 純平	主任技術者 山本 純平	港高潮第6-24号 高知港海岸（西孕地区） 高潮対策工事	高知市 孕東町	孕東防潮堤 N=1式 上部工 L=160.0m（コンクリート V=423m ³ ） 階段撤去・復旧 N=2箇所
有限会社 丸共工業 安芸市井ノ口乙409-6	横井 朝帆	梶原 正也	主任技術者 尾本 健三郎	和食ダム（債）第2-5-3号 和食ダム下流河川護岸及び 管理道路工事	安芸郡 芸西村 西谷	施工延長 L=207.9m コンクリートブロック積 A=392m ² 重力式擁壁 V=97m ³ 逆T型擁壁 V=153m ³ 補強土壁 A=349m ² 転落防止柵設置 L=631m 根固めブロック製作・据付 N=24個 取付階段 V=64m ³ 張コンクリート V=44m ³ ガードレール設置 L=95m U型側溝 L=101m 借地戻し工 N=1式 集水柵 N=1基 舗装工 A=484m ²
株式会社 三谷組 高知市中宝永町5番21号	三谷 修一	山崎 昌宏	監理技術者 西本 文明	道交国防安（改築）（債） 第602-014-1号 国道493号防災・安全交付金工事	安芸郡 北川村 小島	施工延長 L=200m 土工 N=一式 法面工（モルタル吹付＋鉄筋挿入工）A=2549m ² 軽量盛土工 L=194m

【優良賞】受賞者一覧

受賞者	代表者	現場代理人	監理・主任 技 術 者	工事番号 工 事 名	工 事 場 所	工 事 概 要
有限会社 三本建設 須崎市吾井郷乙464	三本 和久	野口 英幸	主任技術者 野口 英幸	砂防第 21-2 号 御手洗川 (2) 通常砂防工事	須崎市 赤崎町	砂防堰堤工 前庭保護工 副堤工 ConV=207m3 流木捕捉工一式 側壁護岸工一式 水叩工一式 取合護岸工 帯工 ConV=9m3 側壁護岸工一式 水叩工一式
有限会社 ムクタ工業 長岡郡大豊町津家24番地12	棕田 新也	町田 祐二	主任技術者 町田 祐二	単急第 3-211-3 号 十市地区急傾斜地崩壊対策工事	南国市 十市	施工延長 L=30.0m 現場吹付法砕工 A=270.2m2 ネットフェンス工 L=29.5m 排水工 L=6.4m 仮設工 (仮設道路・仮設防護柵) 一式
湯浅建設 株式会社 安芸郡馬路村大字魚梁瀬10番地120	湯浅 雅喜	仁井田 和喜	主任技術者 仁井田 和喜	機構関連第 3090-602 号 北川 2 期地区機構関連 農地整備島 3 工区ほ場整備工事	安芸郡 北川村島	整地工 A=2.7ha 道路工 L=678m 用水路工 L=129m 排水路工 L=442m 農産物被害防止施設工 L=1071m
株式会社 龍生 土佐市宇佐町宇佐64番地1	近澤 克昌	秋田 北斗	主任技術者 石建 壽一	漁高潮第 26-6-6 号 宇佐漁港海岸 (宇佐東部地区) 高潮対策工事	土佐市 宇佐町 宇佐	防潮堤 施工延長 L=56.0m 基礎工 L=19.0m 基礎捨石撤去 V=44m3、基礎捨石 V=282m3 本体工 L=56.0m ICT 活用工事 (擁壁工) 水中コンクリート V=66m3、場所打コンクリート V=963m3 被覆・根固工 根固ブロック製作・据付 N=7 個、被覆ブロック据付 N=28 個 排水工：排水構造物 1 式
株式会社 若竹組 四万十市右山元町1-2-22	山本 学	能津 博志	監理技術者 能津 博志	河改第 10-4-2 号 岩田川河川改修工事	四万十市 岩田	施工延長 L=53.4m 止水矢板工 L=48 枚 護岸工 L=53.4m(A=409m2)

【優良賞】

施設災第2号
程野林地荒廃防止施設災害復旧工事

有限会社 伊東組



【表彰理由】

当工事は、令和5年台風6号災害により被災した治山施設の災害復旧工事である。
施工箇所に隣接する林道は、地域住民の生活道や観光スポットである「にこ淵」へのアクセス道として利用され車の往来も多い。徹底した工程管理及び交通管理を行うとともに、「地域の守り手」として、季節に応じた林道の維持管理の取組を定期的の実施することで、地域住民と観光客の安心で安全な通行を確保したことで一切の苦情もなく完工した。
「湧水」と水分を含むと泥化する強風化の黒色片岩が施工難易度を高め、施工途中で複数回崩壊などもあり作業が手戻りとなることがあったが、豊富な専門的知見を元に対策方法を提案するなど努力が見られた。手戻り作業等の影響により12ヶ月を超える工事となったが、想定される工程遅延の要素を把握したうえで適切な工程管理及び安全管理を行い事故無く完成させた。適切な施工管理を実施し、全体的な出来映えが良好な仕上がりとなった。（中央西林業事務所）

【優良賞】

道交国防安（耐震）第603-001-0801号
国道197号（二ツ家大橋）防災・安全交付金工事

有限会社 稲田建設



【表彰理由】

国道197号（高岡郡津野町白石地区）に架かる二ツ家大橋の耐震補強工事である。補強にあたり主鉄筋（D51）は受注生産品となっており、納品までに時間を要することから早期注文が工程短縮のカギとなり、また、冬期の積雪・凍結対策に大量に散布する塩カルによって、万が一有害クラックが発生すると塩害による鉄筋腐食を引き起こすため、緻密なコンクリート表面の仕上がりが課題であった。
課題克服のため、ICT3Dスキャナにより起工測量を実施するとともにCCPM工程管理ソフトを活用しロスの無い工程管理を行い、有害クラック防止策としての品質管理（FEM解析法を活用しひび割れ予測解析を行い、最新AE減水剤と生コン改質剤FD-15を添加したNEW配合を開発使用するとともに、適切な養生を実施することで乾燥クラックを抑制した）を十分行うことで、クラックが生じることなく良好な出来栄の躯体に仕上がっていた。
また、隣接して調査する委託業者や警備会社と綿密に打合せを行い、安全な通行制限を実施し、併せて緻密な工程管理により、苦情ゼロ、無事故で工事を完成させた。（須崎土木事務所）

【優良賞】

道交国防安（改築）（債）第 602-0073-1 号
国道 441 号防災・安全交付金工事

植田興業 株式会社 / 豚座建設 株式会社 / 刈谷建設 株式会社



【表彰理由】

本工事は、四万十川の自然環境を保全しつつ、杭施工に伴う土砂の流出防止のため、現地で発生した竹を活用した土留柵の設置など環境配慮型の施工を実施した。さらに、工程の後戻りや品質低下を防ぐため、ICTアプリ「快速ナビ」を用いた3次元設計データの活用により、測量効率と出来高の精度向上を図り、工期短縮を実現した。また、幅員の狭い道路における車両の安全確保に向け、モルタル吹付や鉄筋挿入工による法面保護を行い、法面点検や路肩防護柵、飛散防止ネットの設置など安全対策を徹底した。これら一連の取り組みは、環境保全と安全管理、ICT活用による効率的で高品質な施工の両立を実現しており、地域社会の信頼に応える模範的な工事である。（幡多土木事務所）

【優良賞】

港高潮第 6-22 号
高知港海岸（横浜地区）高潮対策工事

尾崎建設 株式会社



【表彰理由】

高知港海岸の横浜地区における防潮堤の耐震及び津波対策の補強工事である。本工事は、防潮堤起点部の法線が急曲線になっており、波返しの歪みやねじれの抑制が課題であった。現地線形を別ヤードで再現し、型枠を仮組みして事前確認する工夫を行い、防潮堤法線の連続性を確保するとともに、波返しの変形を最小限に抑制することができ、構造物の品質向上を実現した。狭隘箇所における施工では、港内側への仮栈橋設置を提案し、進入路を確保することで重機による作業の安全性を確保しながら施工の円滑化を図った。また、人家や船溜まりに隣接する現場特性を考慮し、地域住民や船舶関係者との綿密な連絡調整を行い、情報共有を図ることで第三者災害の防止に努め、無事故で工事を完成させた。（高知土木事務所）

【優良賞】

地震高潮第 53-1 号
松田川地震高潮対策工事

金村建設 有限会社



【表彰理由】

当現場は、農作地が広がり、農業者や地域住民、河川漁師の利用する生活道路でもあったため、それらに配慮した施工が必要な現場である。工事中は、フェンスの設置、防塵対策、定期的なボランティア活動など、積極的に地域の方の生活環境へ配慮した対策を行い、良好な関係の構築に努めた。

また、ICTの活用によりARで現地と設計モデルを重ね合わせ、下請け・作業員へ施工範囲や危険箇所を視覚的に説明することで、作業理解が深まり、安全行動の統一と作業ミスの防止につながった。さらに、ヒートマップにより掘削法面の過不足を数値化し、据付面を均一で滑らかに仕上げることで、従来施工より高い据付精度を確保するなど、工事全般にわたり技術的判断に優れ、良好な施工に努めた。
(幡多土木事務所宿毛事務所)

【優良賞】

基幹（補正）第 243 号
森林基幹道開設事業土居柳野線 1 工区工事

株式会社 四国ネット



【表彰理由】

林道土居柳野線における開設工事である。施工箇所は、標高約500mに位置し、急峻な地形で土木部所管の地すべり防止区域に隣接しており、土質等に指定区域との大きな差異はない。

この地質特性を受けて、開設起点部ののり面において地すべり性の崩壊が発生、協力企業と共同でのり面調査（企業努力）を実施し、調査報告書作成と現場吹付のり枠工の提案。長期間の工事中断が避けられた。また、切土のり面において発生した湧水に対しては、適切な排水対策を発注者に提案して実施し、谷部に適切な導水をすることで、のり面の安定を図った。

また、法枠工の出来形管理にICT技術を導入した。検測が危険であった高所箇所の出来形が、点群データの作成により、机上で容易に検測可能となった。法枠工特有の梁の湾曲箇所は、連続線による計測技術を活用して計測、要領・手順を見直し、3次元出来形データによる高精度な出来形管理を実現した。（中央西林業事務所）

【優良賞】

道改国第 92-50 号
国道 493 号（北川道路）道路改築工事

株式会社 勝賀瀬土建



【表彰理由】

当該工事は、地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部を構成する北川道路の拡幅工事である。

当該箇所は、迂回路のない生活道であるとともに、ゆずの出荷時期（10月15日～12月10日）には一般車両等の通行を優先させなければならない状況であった。こうした中、モルタル吹付設備や軽量盛土材製造プラントなど仮設備の設置、川側からのクレーン施工など、現場条件は非常に困難であることから、事前に綿密な計画を立案することにより、通行規制を行うことなく工事を完成させた。

さらに、自主的にカウンターアンカーの試験施工を複数の工法で実施するなど、軽量盛土の品質向上のための取り組みも見られた。

また、担い手確保が重要な課題となっている中で、工事現場においても週休2日制の導入や現場代理人の育児休業取得など、働きやすい職場環境づくりにも積極的に取り組んでいる。（安芸土木事務所）

【優良賞】

大規模第 1-4 号
安芸川大規模特定河川（栃ノ木橋下部工）工事

ジョウトク建設 株式会社



【表彰理由】

本工事は、安芸川の洪水対策および治水機能向上を目的とする栃ノ木橋P1橋脚構築工事である。安芸川はアユ漁が行われており、濁水の流出対策が求められた。また、橋脚躯体、底版の断面が大きく拘束度が高いため、乾燥収縮や温度変化に起因する外部拘束によりコンクリートのひび割れ、鉄筋密集部や打継部の締固め不足による豆板の発生が懸念されコンクリートの品質管理が課題であった。濁水の流出対策について、鋼矢板継手部に膨潤止水材パイルロックNS-vを塗布し仮締切内の止水性を向上させ、濁水の流出を抑制した。

さらに、沈砂池設置による濁水処理を徹底し放流を行った。橋梁躯体コンクリートの品質確保については、ひび割れ低減材（ハイパーネット60）の配置や入念な締固めを実施し、ひび割れや豆板のない良好な構造物を構築した。また、ICT技術を活用し、出来形管理の省略化及び効率化が図られた。独自の取り組みとして、躯体本体のみならず隣接橋台の3次元モデル化を実施し、より視覚的且つ明瞭な管理がなされていた。（安芸土木事務所）

【優良賞】

道交国防安（改築）第 9113-021-2 号
国道 439 号防災・安全交付金工事

有限会社 高橋建設



【表彰理由】

本工事は、河川に隣接した大型ブロック積工の施工であることから周辺の動植物や河川への環境配慮が求められる工事であった。

環境への配慮として希少動植物の生息調査を実施し、多段階希釈による濁水対策や生分解性グリスの使用で環境負荷を低減することができた。

また、ICT施工管理により、高精度かつ効率的な施工を実現し、AR技術の導入により、施工の可視化とミス防止を図り、優れた施工が実施された。

さらに、新技術の勉強会も開催するなど、担い手不足を補うICT技術の活用や建設業の普及活動を会社全体で実践していることは十分評価できる。（須崎土木事務所）

【優良賞】

総防第1-5号
奈半利川総合流域防災工事

有限会社 田所建設



【表彰理由】

本工事は、2級河川奈半利川における導水管路敷設工事である。当該施工箇所はダム貯水池内であり、地形が複雑であるため、管路敷設には正確に現地測量を実施することが課題であった。

このため、全施工延長の構造物を点群データを活用した3次元モデルで表現し、迅速に各横断の構造を決定することができた。また、施工に際しては、FRPM管の法線・高さ・厚みを含めた3次元データを作成し、快速ナビによるリアルタイム測量を実施するとともに、あらかじめ管の敷設高に合わせたライナープレート（管1本（4m）毎の法線上に設置して管底高の確保を行うことで管底高計算が不要となり、円滑に敷設作業が行え、規格値50%以内を容易に達成した。

なお、現場の周辺環境への配慮も十分になされ、地元漁協等からの苦情も一切なく工事を完成させた。（安芸土木事務所）

【優良賞】

復旧第9号
浦越復旧治山工事

株式会社 谷渕組



【表彰理由】

本工事は、平成28年5月の豪雨により、地すべり性崩壊が発生した斜面の復旧を行う治山工事である。施工箇所は、国道381号沿線上の山腹斜面で、国道下方には清流四万十川があることから観光道路として交通量が多く、早期の復旧と自然環境に配慮する必要があった。法枠資材の運搬には、モノレールと併設して簡易ケーブルクレーンを法面中央部に仮設方法を工夫しながら併設することで、資材運搬の大幅な効率化に寄与した。また、ICT法面工を活用しUAV測量にRTK技術を駆使して、高精度な測量を実現させ作業効率の向上が図られた。枠モルタルには顔料を添加、汚水対策にph調製剤を添加するなど環境・景観に配慮するとともに、交通トラブルや苦情もなく無事故で工事を完成させた。（須崎林業事務所）

【優良賞】

道交地防安（ゼロ債）第5103-046-1号
県道安満地福良線防災・安全交付金工事

月灘建設 株式会社



【表彰理由】

本工事箇所の県道安満地福良線は、幡多郡大月町沿岸部に位置し、大月町の基幹産業であるマグロやタイ等の養殖漁業が盛んで、漁業関係者による大型車両の輸送路としても利用されている重要な路線である。

当該現場は、道路幅員が狭くかつ視認性の悪い区間であり、地域住民や漁業関係者等の車両、また、路線バスや福祉車両等の通行も多いことから通行時間規制をした際には、地元住民の生活へ大きな影響が発生すると考えていた。それらに対処するため、建設重機の大形化・施工ヤードの確保を実施し、現状の通行体制を崩すことなく工事を進め、工事期間中の通行車両の安全を図るための損耗箇所のオーバーレイ舗装による路面のレベリングにより道路利用者へも配慮して工事を完成させた。（幡多土木事務所宿毛事務所）

【優良賞】

港高潮第 6-24 号

高知港海岸（西孕地区）高潮対策工事

株式会社 富士建設工業



【表彰理由】

高知港海岸の西孕地区における防潮堤の耐震及び津波対策の補強工事である。本工事は、地元負担の最小化と夏季の厳しい施工環境への配慮を両立させた工事である。

地元負担の最小化に向け、当初の全面通行止め・広域迂回計画に対し、自主的に民有地を借地して工区内に迂回路を整備することで、住民の負担を大幅に軽減した。また、騒音や粉塵等を抑える静的工法を提案し、周辺環境へ配慮した。

品質管理においては、夏季の暑中コンクリート打設に対し、打設前から脱型後までの入念な一連の管理を徹底し、ひび割れのない高品質な構造物を構築した。

さらに、熱中症対策を万全に講じつつ、作業体制を強化し、二次製品の使用による工程短縮を図ることで、無事故での工期内完成を達成した。（高知土木事務所）

【優良賞】

和食ダム（債）第2-5-3号

和食ダム下流河川護岸及び管理道路工事

有限会社 丸共工業



【表彰理由】

本工事は、和食ダム直下の河川護岸工事と管理用道路工事を行うものである。

ダム本体工事やダム関連施設工事との工程調整、試験湛水後の放流や竣工式典等のスケジュールへの対応、周辺田畑への配慮が課題であった。厳しい工程管理が求められる中、週に1度、近接工事と調整を図り、且つ、作業タスクを細分化して週間単位で進捗を管理することで各イベントまでに工事を完成させた。また、全ての工種でBIM/CIMモデルを作成し、段階形、完成形を把握しながら施工を行うことで工程の効率化・最適化を図るとともに、3D配筋モデル等による問題点の事前把握をすることにより、品質確保に努めた。さらに、工事用資材運搬時における散水の徹底や路面補修等を行うことにより、周辺環境への影響を避け、苦情もなく工事を完成させた。出来ばえについても地元住民から褒められるなど、評価されるものであった。（安芸土木事務所和食ダム建設事務所）

【優良賞】

道交国防安（改築）（債）第 602-014-1 号
国道 493 号防災・安全交付金工事

株式会社 三谷組



【表彰理由】

当該工事は、地域高規格道路阿南安芸自動車道の一部を構成する北川道路の拡幅工事である。当該箇所は、迂回路のない唯一の生活道路であり、ゆずの出荷時には通行の確保が優先されるため、通行規制を伴わない施工及び現道の変状や崩壊には細心の注意が不可欠であった。

このような現場条件に対し、仮設計画や施工方法の見直しを行うことで、地元住民や観光客への影響を最小限に抑え、また、法面の変状が見られた際には、地質調査技士による「のり面点検調査」に基づき、速やかに施工方法の見直しを行うことで、第三者被害を未然に防ぎ、通行規制を行うことなく工事を完成させた。

さらに、自主的に3D設計データを作成し、杭ナビにより適宜確認することで、壁面材の出来ばえと品質確保の取り組みも見られた。（安芸土木事務所）

【優良賞】

砂防第 21-2 号
御手洗川(2) 通常砂防工事

有限会社 三本建設



【表彰理由】

【安全対策・地域対応】

通行経路が狭隘な住宅地であるため、戸別訪問説明や工事内容の拡大掲示、運行予定の事前周知を行い住民の安全に配慮した。さらに、「経路注意箇所マップ」を全関係者に周知し、安全意識を徹底した。

【出来形・品質管理】

副堤工では、1リフト打設ごとにダム軸をプロットし、型枠位置を微調整することで高い出来形精度を確保した。また、生コン運搬の遅延対策として近隣に積替場所を設け、10t車から4t車へ迅速に積み替えることで打設の時間ロスを最小限に抑制。連続打設による品質確保と工期遵守を両立させた。（須崎土木事務所）

【優良賞】

単急第3-211-3号
十市地区急傾斜地崩壊対策工事

有限会社 ムクタ工業



【表彰理由】

当該工事は、土砂災害特別警戒区域に指定されている南国市十市地区の急傾斜地崩壊対策工事である。

施工箇所は、十市保育園、新宮神社、高齢者多世代交流プラザが近接しており、施設利用者に対する騒音の低減や通行の安全確保等、多くの対応が求められる現場である。

受注者は、綿密に作業計画を立てて工程調整を十分に行ったことで、保育園の昼寝時間等、騒音を伴う作業を行うことができない時間帯があったが、厳しい工程の中でも遅れることがなく工事を完成させた。

また、保育園行事への参加や周辺清掃活動、神社のイベントへの協力等、積極的に周辺施設とコミュニケーションをとり、非常に良好な関係を築きあげることで、苦情等もなく円滑に工事を進めるとともに、建設業のイメージアップにも貢献した。
(中央東土木事務所)

【優良賞】

機構関連第3090-602号
北川2期地区機構関連農地整備島3工区ほ場整備工事

湯浅建設 株式会社



【表彰理由】

本工事は、北川村が目指す「ゆず産業を中心とした産業振興・村民の所得向上」を下支えするほ場整備工事である。

中山間地域である北川村島地区において、ゆず園地を中心とした2.7haのほ場整備(整地、道路・用排水路、獣害防止施設等)の施工であるが、ほ場整備工事は、天候に依存されることが大きく、長雨・台風期や冬季凍結など厳しい条件に対し、工程の見える化と毎朝の工程会議、予報に基づく作業区分により、追加要望にも無理のない調整で工期内完成と週休2日を両立させた。

さらに、高知県内では施工事例の少ない縦断勾配を伴う広範囲の区画整理にICT施工(UAV測量、MG、杭ナビ・快速ナビ併用)を適用し、高精度な出来形と作業日数短縮を実現した。加えて職場体験の受入れや若手登用を通じ、将来のほ場整備工事技術者の担い手確保・育成にも積極的に取り組んだ点が高く評価される。
(安芸農業振興センター)

【優良賞】

漁高潮第 26-6-6 号
宇佐漁港海岸(宇佐東部地区)高潮対策工事

株式会社 龍生



【表彰理由】

本工事は、南海トラフ地震及びそれに伴う津波から地域を守るため、既存の海岸施設の改良を行うものである。漁港海岸の特性上、漁業従事者をはじめとする漁港利用者の利用を確保しつつ、工事を実施する必要がある。工事箇所は、漁業管理者などより日常的に利用されている臨港道路と接しており、工事中においても漁港利用者等の安全な通行を確保することが重要である。その対策として型枠設置については、海上の作業船上で大組し、その海上作業船のクレーン設置することで、陸上部での作業スペースを縮小化し臨港道路利用者への影響を最小限にすることができた。

また、施工前施工後においてUAV測量を実施し、視える化することにより、作業員全員で情報を共有化し、作業の効率化や安全性の向上を図るとともに、現場管理の信頼性や出来形管理の精度を高め、良質な構造物を構築することができた。

(中央西土木事務所)

【優良賞】

河改第 10-4-2 号
岩田川河川改修工事

株式会社 若竹組



【表彰理由】

当該工事は、岩田川堤防の漏水対策工事である。近隣には保育園や民家があり、アユ漁の解禁や用水路の使用時期など、各種期限がある現場であった。

各期限を確保するため、ICT基礎工を活用し、3次元起工測量によって必要枚数の鋼矢板を早期に発注し、納期に時間のかかる鋼矢板の納期短縮を図られた。また、コンクリートブロック据付時の吊り金具の工夫や、日々の管理および出来形管理にも3次元データを活用することで、測量の省力化を実現し、各期限内に工事を完成させることができた。

さらに、周辺環境に配慮し、こまめな散水による防塵対策や騒音を抑える機械の使用、保育園の昼寝時間に騒音の発生する作業を控えるなど、影響を最小限に抑えた結果、苦情もなく無事故・無災害で工事を完了することができた。(幡多土木事務所)